

氏名： 中村 俊直
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 教授
学位： 文学修士 (1979 東京大学)、D . E . A . (1982 ポール・ヴァレリー大学)
専門分野： 近・現代のフランスの文学と思想及び言語論
E-mail： nakamura.toshinao@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

視覚イメージ／言語記号／美術批評／文化記号論／演劇的言語

◆研究内容 / Research Pursuits

- 1 フランスの19世紀末から20世前半にかけて活躍した詩人・批評家のポール・ヴァレリーに関する多角的、総合的な研究。
- 2 言語記号と視覚イメージの両者の機能の比較研究。
- 3 日本の近現代の文学者や芸術家たちの営為にフランスの文学や文化が与えた影響の解明。また逆にフランスの文学や美術に日本の芸術が与えた影響の解明。
- 4 演劇における言葉の働きについての考察。

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部

- 1 フランス語の初級文法の教授。
- 2 西ヨーロッパの文化と社会の特質についての考察。
- 3 西ヨーロッパにおける文学と美術との相互影響関係の考察。
- 4 卒業論文の指導。

大学院

- 1 詩人の舞踊論の研究。
- 2 ヴァレリーの美術批評の講読。
- 3 修士論文、博士論文の指導。

◆研究計画

- 1 ヴァレリーの美術批評の精密な読解とその翻訳を行う。
- 2 視覚イメージと言語記号の両者の機能を総合的に比較考察する。

◆メッセージ

大学は自由にものを考え、探求することができる場所です。大学での学問の範囲は明確に限定されているわけではありません。はっきりとした一つの答えが見つからなくても良いのです。思考や探求の結果ももちろん重要ですが、それと同じくらいに、あるいはそれ以上に重要なのは、結論に達するまでの過程です。その過程において、たくさんのことを考え、調べ、さらにはいろいろ試行錯誤することが、後々大きな意味を持ってきます。そのようにして、柔軟な思考力や幅の広い判断力を養成することが、卒業後の長い人生において大きな力となることでしょう。